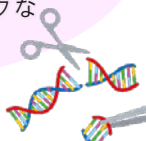




染色体工学研究センター

切って、貼って、移し替えて...
染色体工学っておもしろい!

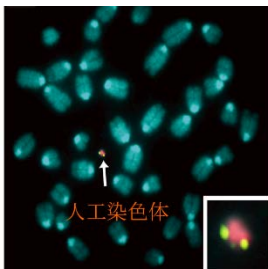
医学部のある米子キャンパスには、
医学部・生命科学科の創立以来、約30年かけて
築き上げた染色体工学の技術を集結した「染色体工
学研究センター」があります。この染色体工学
の分野で世界をリードするユニークな
施設をご紹介します。



染色体の可能性は無限大!

「染色体工学」という研究を耳にしたことはありますか? 染色体を自在に操り、染色体の仕組みを探ったり、新たな染色体を作ったりする研究です。染色体工学研究センターが独自に開発した細胞の中の染色体を取り出す技術により、研究の幅が一気に広がっています。

例えば、その技術をもとに、発がんのメカニズムを研究。細胞のがん化を抑制する遺伝子を探し出すことに成功し、世界中から注目を集めました。



また、その技術を応用し、同センターで開発された「人工染色体ベクター」は、世界でここ鳥取大学にしかない資材として注目されています。これは、すべての遺伝子を取り除いた空っぽの染色体で、後から遺伝子の大きさや数に限りなく自由にのせることができる優れたものです。その人工染色体ベクターを用いて、薬物に対して人間の身体と同じ反応を示すマウスを作製。これにより、新薬開発の一助となることが期待されています。

このように、染色体を用いて、病気の仕組みの解明から医薬品の開発まで多岐にわたるユニークな研究を行っているのです。



染色体とは、
細胞の中にある、
複数の遺伝子の
集合体です。

「学び → 活かし → 社会に出す」のすべてをここ、鳥取大学で。

平成2年、生命科学科が設立された当初の目的は、世界で活躍できる基礎研究者を養成することでした。しかし、設立から30年が経った今、基礎研究者の養成だけではなく、バイオ産業部門の起業化など科学の知識を活かして活躍できる場が広がっています。一方、研究成果を目に見える形として人々に還元することが社会から求められています。

そんな中、このセンターの技術をもとに平成30年度に発足

した「とっとり創薬実証センター」。ここでは、実際の医薬品を生み出すための基盤技術開発を目指して大手製薬会社と共同で研究を行っています。

つまり、鳥取大学医学部には、**学び(基礎)、その知識を活かし(応用)、更に社会貢献に繋がる(医薬開発)すべての土壌が備わっている**のです。ここ、鳥取大学で世界をリードする、あるいは変えるような研究と一緒にしてみませんか?



白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース

◆通行のルール◆

一列縦隊での左側通行が原則です。
ルールを守ってサイクリングを楽しみましょう。

令和2年3月22日(日)、境夢みなとターミナル(境港市)から日野川河口(米子市)までの、約15.8kmをつなぐサイクリングコースが開通し、トライアスロン発祥の地としても有名であるこの米子市に、新たな名所が誕生しました。

このコースは弓ヶ浜半島の日本海側の海岸を沿って作られており、砂浜、松林、日本海越しの大山など、様々な景色を楽しむことができます。傾斜もほとんどなく、サイクリングだけでなく、お散歩やジョギングにも最適です。また、米子鬼太郎空港近く的美保湾展望駐車場には、自転車駐輪場も整備されているので、飛行機の離着陸も見ることができます。

運動不足が気になる皆さん、レッツサイクリング!



とっとり方式認知症予防研究開発・普及事業

医学部での研究!



保健学科 検査技術科学専攻
生体制御学講座
河月 稔 助教

鳥取県の高齢化率は30%を上回っており、全国平均の約10年以上先を進んでいると言われています。このような状況において、認知症対策は非常に重要な課題となっています。

そこで、2016年度から日本財団との共同プロジェクトとして、鳥取県、伯耆町と連携して鳥取県独自の認知機能低下を予防するための「とっとり方式認知症予防プログラム」を開発し、鳥取県全域への普及を目指す取り組みを行いました。このプログラムは、運動、知的活動に加えて認知症に関する座学を取り入れた1回2時間の構成。このプログラムの実施の有無でどのような差が出るのかを約1年かけて継続的に評価した結果、認知機能や身体機能の向上効果が期待できることが判明しました。

今後は研究を通して見えてきた課題の解決に向けて、引き続き地域を志向した取り組みを行っていきたいと思っています。

卓球部

DATA

【部員数】30名(男20名、女10名)
【2019年度 主な成績】
全日本医歯薬学生卓球大会
男子ダブルス 準優勝など
【活動日】水曜日・金曜日・土曜日

こんな活動をしています

通常の練習のほか、アスレチックにBBQ、冬には大山でスキーなどのイベントもしています。大会などで県外へ遠征に行く際には、その土地の観光も欠かせません。

卓球部のいいところ

大学から卓球を始めた部員もたくさんおり、経験者の部員が基礎から教えてくれるのでどんどん上達できますよ。初心者でも団体メンバーに入る人もいます。

勉強面でも頼れる先輩多数!
Twitterも始めたのでぜひ見に来てください↓↓↓
@toridai_takkyu



サークル特集vol.VIII

茶道部

DATA

【部員数】41名(男子12名、女子29名)
【活動日】毎週金曜日
【活動場所】医学部同窓会館

こんな活動をしています



茶道の作法や精神を習得することを目標にお手前のお稽古を行い、市民茶会や錦祭でお手前を披露しています。また、お茶会で使用するお茶碗を窯元へ行って手作りしたり、茶道の先生のご自宅にて新緑茶会や初釜もおこなっています。

茶道部のいいところ

兼部する部員が多く、部を超えた交友関係が広がります。また、テスト期間は部活がオフになるため勉強との両立がしやすいですよ。ほとんどの部員が茶道未経験者です。堅苦しいイメージがある方は一度見学にいらしてください。茶道や和菓子に興味のある方、お待ちしております!



医学部食堂

米子地区の学生の食生活を支えている大学生協が運営する医学部食堂。平成27年にリニューアルし、明るい食堂へ生まれ変わりました。

新型コロナの影響で、営業時間の短縮や座席数を減らして営業をおこなっています。食堂がまた多くの笑顔や話し声であふれるよう、栄養面から皆様をサポートしていきます。



※4月末現在、
11:00~18:00で
営業中です。

【営業時間】
平日 8:00~19:30
(休業日:土・日・祝日)



栄養バランスのとれた食事の提供を心掛けています。
学生の皆さん、職員の皆さん、地域の皆さんのお越しをお待ちしております!

生協おすすめメニュー



★名古屋発祥のピリ辛のスタミナ混ぜそば

【予告】6/1~は九州・沖縄フェアです!

その他、週替わりメニューをたくさん準備してお待ちします!!



編集後記

新型コロナとは何ぞや。病気と医学の追いつけっこには終わりがありません。(StayHomeがそんなに苦じゃない広報係Y)

発行/鳥取大学医学部(総務課広報係)
〒683-8503 鳥取県米子市西町86

TEL:0859-38-7037 e-mail: me-kouhou@adm.tottori-u.ac.jp